



東日本大震災 災害ボランティア(炊き出し支援)

活動報告

御代田町商工会青年部では、10月22日・23日に向け、宮城県石巻市雄勝町の仮設住宅および近隣の施設などに『おにかけうどん』の振舞支援、おやき・水・米・レトルト食品などの支援物資の提供を行ってきました。

石巻市雄勝町は、沿岸部に面しており、メディアなどで取り上げられているような、大きながれきの山が沢山ありました。また、壊れた電化製品や電線だけある景色を見ると、確かにそこに地域の方々の生活があったのだと実感し、涙が込み上げてきました。改めて震災の被害の甚大さを痛感させられました。

震災から半年以上過ぎ、復興も進んでいるようですが、今回私たちが行かせていただいた場所は、市街地から遠い場所ということもあり、復興があまり進んでいない場所でした。私たちの活動としては、仮設住宅を中心に、『おやき』300個を現地にて調理し、皆さま

にお配りしました。商工会員の方々よりご提供いただいた、支援物資も仮設住宅の皆さまにお配りさせていただきました。現地の皆さまは、大変喜んでいらつしました。また、地域の方々とのコミュニケーションを通じ、震災の状況や現在の状況などお聞きすることができました。日々の生活に不安がある中で、心のケアも大切だとよく分かりました。今後も炊き出し支援に限らず、復興が長期化する東北地方に対して、継続的なボランティア活動が必要だと実感しました。

今回、縁あってこの地域に入り、活動させていただきしました。地域の皆さまに快く受け入れていただき、気持ちよく活動ができたことは、微力ではありますが、支援に繋がったのではないかと感じています。

問い合わせ先

御代田町商工会(32)5435

長野県無形民俗文化財

御代田町草越

寒の水

水を浴び、走る、
はだかの男たち

1月20日(金)

午後6時ごろ
草越公民館出発

当日は

○御代田名物「おにかけうどん」が無料でふるまわれます。

○味工房みよたの手作り味噌・甘酒の販売。購入者には、ミニチュアの兎巾(ときん)をプレゼント。数量限定!

問い合わせ先

産業経済課商工観光係
(内線31・62)



健康で事故のない新年にしましょう

◎年末年始の火災予防

これから年末年始にかけて暖房器具などの火気を使用する機会が多くなり、師走のあわただしさで火に対する注意もおろそかになりがちです。暖房器具などは正しく使用し、出かける前、お休み前には、もう一度火の元の確認をしましょう。

また、全国的に出火原因のトップは放火です。家の周りに新聞紙や雑誌など、燃えやすい物は置かないようにしましょう。

※住宅火災からあなたを守るために、住宅用火災警報器を設置していないお宅は設置するようにしましょう。



◎ヒートショックによる事故に注意

「ヒートショック」とは、急激な温度変化が体に及ぼす影響のことで、室温の変化によって血圧が急激に上昇したり下降したり、脈拍が早くなったりする状態のことをいいます。寒い時期に起こりやすいと言われ、特に浴室や脱衣所、トイレにおいて倒れるなどといった事故は、ヒートショックによるものが多いので、入浴する前には浴室や脱衣所を暖めるなどしてから入るようにしましょう。

※最近減ってはいますが、年末年始に集中している、お餅をのどに詰まらせる事故にも注意しましょう。

◎消防団年末夜警

消防団では年末の期間中、各地区において火災などの災害から町を守るため、夜警パトロールを実施しています。地域の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

【雪かきのお願い】

消火栓の雪かきについて、日ごろは住民の皆さまのご協力により実施していただきありがとうございます。

冬期間の火災時において、消火栓に雪が積もっていると消火活動に支障がでます。消防職員、消防団員による雪かきも実施しておりますが、行き届かないところもありますので、もしご自宅付近で消火栓の上に雪が積もっているのを見かけましたら、雪かきをしていただくようご協力をお願いします。



「NPO法人設立講座・個別相談会」の開催について

NPO法人の設立を考えている方を対象に、県のNPO担当者による設立講座、個別相談会が開催されます。

申し込み・問い合わせ先
長野県企画部県民協働・NPO課
026(235)7190

対 象 者 NPO法人を立ち上げて社会貢献をしたい方
日 時 1月26日(木) 午後1時30分から
申込締切日 1月24日(火)
開催場所 佐久合同庁舎 5階 502号会議室
そ の 他 長野県庁では毎週水曜日に相談会を開催しています。

戦没者追悼式

当町の戦没者に対し追悼の誠をささげ、平和への思いを新たにすため、11月18日に御代田町戦没者追悼式が行われ、戦没者のご遺族の方、関係者が参列しました。

66年前の先の大戦により、御代田町でも288名の方々が祖国を思い、家族を案じつつ戦場に散り、戦禍に倒れ、あるいは戦後、遠い異境の地などで亡くなられました。

亡くなられたすべての御霊に対し、追悼の誠をささげます。

